

志津

まちづくり通信

第2号

発行：平成24年7月1日
志津地区まちづくり協議会
(志津市民センター内)
〒525-0041
草津市青地町561番地
TEL 077-562-0047



草津市保護樹木：志津のくすのき

募集

「志津まちづくり協議会」の歌

世代を越えて親しまれ、口ずさむ
○自然・文化・風土
○元気や喜び、夢や希望
が感じられるものを募集します。

「歌詞」または「歌詞と曲」どちらでも応募できます。

募集期間：平成24年7月1日～12月20日
※志津地区在住の方に限定募集
応募についてのお問い合わせは、志津市民センターまで



志津のカーネーション

環境

- ・自然や緑豊かなまち
(多数意見)
- ・広い公園がほしい
- ・町や川がきれいなまち
- ・運動場が裸足でも痛くない芝生になるといいな

都会

- ・交通が便利なまち
- ・東京みたいな都会のまち
- ・みんなが大金持ちのまち
- ・自分の家に遊園地があるまち
- ・空港があるまち
- ・遊園地・動物園・水族館があるまち
- ・道がエスカレーターのように動くといいな～
- ・広い道路があるまち (多数意見)
- ・人・自転車・バイク・車 それぞれの決まった道があるといいな
- ・家の近くに服屋さんがあるといいな

志津地区の子どもたちが語る10年後の夢

志津の10年後は
こんなまちだったら
いいなあ

防犯

- ・犯罪や暴力がないまち
- ・事故がないまち
- ・不良がないまち
- ・学校に防犯カメラがある
とっと安全になる
- ・危険が少なく、おじいちゃんやおばあちゃんも安心して暮らせるまちに

その他

- ・子どもが多いまち
- ・特産品をつくってほしい
- ・ロクハ公園や学校の運動場にもっと遊具を増やしてほしい
- ・もうちょっとカッコいい学校になるといいな

住民と向かい歩む活動をめざして

志津地区まちづくり協議会

副会長 奥村 金二

4月9日(月)に平成24年度志津地区まちづくり協議会の総会を開催しました。

構成団体34の内33団体代表者出席のもと、昨年度の事業報告、収支決算報告、まちづくり協議会会則の一部改正議案の後、平成24・25年度の役員が選出されました。

平成24年度まちづくり協議会の活動方針は、「志津地区の自然環境や人とひととの結びつきを大切にする良さを背景にしながら、町内会等の地域の主要な団体を中心として、地域の課題は地域で解決することを基本に、住民自治・行政サービスに関して地域を代表する組織として活動を遂行する。」としました。

まちづくり協議会の推進は、「自発的な組織で運営するとともに、福祉のまちづくりと相互に連携を取ることを」を目標に、5つの部会を設置して事業を遂行します。

収支予算計画も従来の市の補助金制度が、今

年度から一括交付金制度となり、交付金を5つの部会に配分し、予算費用を十分に活用しながら、事業の実施は全て関係団体が一致協力して運営して行きたいと思えます。

特に「敬老のつどい」は、従来の一つの会場から、多くの方に参加願えるように身近な地域である町内会ブロックで開催することが採択され、実施する運びとなりました。

さらに、「地域ふるさとづくり活動事業」は、活動事業策定委員会(委員13名)を発足し、今年度、平成25年～27年度の事業計画を策定します。この事業計画は、福祉のまちづくりと相互に連携し、住民福祉活動計画の理念である「ふれあい 支え合い 住み続けたいまち」を基に、“地域の現状” “地域の課題” “地域の将来像” を模索しながら策定し、平成25年度から推進して行きます。

わがまちのワンポイント紹介

馬場町



朝、キジの鳴き声や小鳥のさえずりで目覚める。田園風景が広がり、春は児童公園の桜見物でにぎわい、初夏は蛍の乱舞、夏は蝉の声、秋は紅葉と自然の環境に恵まれた中に小槻神社の飛地境内社とされている「八幡宮神社」(品陀和気命一應仁天皇)は馬場町の氏神神社として存在しています。

この神社では、農業を営むことを主としているため、五穀豊穡を願う行事があります。また、子どもが生まれると「お宮参り」も氏神神社に参詣し、健康と知恵を授かるようお願いいたします。(文：奥村 平一)

(写真：奥村 浩)

山寺町には、西暦775(弘仁6)年に願安大法師によって開基された楽音寺跡に、村人によって建てられた(栗太郡史によると貞享4年再建)十二将神社があります。昔から伝わっている祭事として毎年、五穀豊穡・万民快樂・住民安住を願って、3回の燈とお湯を行っています。

また、毎年11月3日の文化の日には、山寺町民つどいの大会を、町民はもちろんの事、町内にある施設の方々や会社を招待し開催しています。「おふくろコーナー」として飲食を提供し、菊花展、アトラクション、町民の作った野菜コーナーの即売等を行っています。このように山寺町には、以前から年間を通して様々な行事があります。老若男女を問わず皆が参加、協力し合い今後もこの様な行事を大切にしていきたいものです。(文・写真：奥村五十六)

山寺町



山寺新田



草津川の上流、金勝、美濃郷川に沿って戦前11世帯、現在は46世帯のどかで自然豊かな田園世帯が我が町です。最近、田畑が鳥獣被害に遭い、市の指導で檻を二基設置しました。田舎ですが、都市ガスは栗東トレーニングセンターの開設と同時に市内で一番早く開通しています。交通面では、車、自転車、まめバスのみ。高齢化が進み、小学生も少なく、まめバスが草津駅まで走ってくれればと願っています。

主要道路の石部草津線は、朝夕のラッシュアワーで渋滞。町内では「おきばりやす〜」と挨拶をかわし、百歳体操毎週一回、地域サロンにここにこ会で元気印の町です。(文・写真：山本 彌夫)

笠井町では毎年、夏に納涼祭として町民の集いを行い、親睦を深めています。また、近年では各スポーツ大会においても上位入賞を果たし、賞状やトロフィーが増えるたびに町民の団結力もいっそう盛り上がり高まっています。

これからも町内が益々発展していくとともに、明るいまちづくりをめざしています。(文・写真：大田 昌美)

笠井町



岡本町



(写真：山元亀治郎)

歴史を彩る岡本町！

星空が美しい岡本町は、草津市南西部の草津川と名神高速道路に挟まれた緩やかな丘陵地と平野に位置しています。もともとは田園と農家を中心とする地域であり、江戸時代には大雨による草津川の決壊とともに民家も流され、現在の圓通寺付近の丘陵地に民家の移転が余儀なくされたと伝えられています。昭和40年代には、南部の丘陵地帯に工業団地が誘致されるとともに、周辺の土地開発によって新たな住宅が建築され、現在は220戸余りで町内会を組織しています。

草津川の堤防から岡本町全体を俯瞰すると、住宅の藁と田園の緑が鮮やかながら、のどかな風情を醸し出しています。(文：奥村 輝雄)

志津地区まちづくり協議会の組織体制

平成24年度 役員名簿

総会

役員	会長	山元 忠三						
	副会長	奥村 金二 山口 平治						
	会計	山本 一房						
	事務局長	吉田 和子						
	理事	宇野 敬造	青木 光	山本 彌夫	奥村 弘	奥村五十六		
		服部 孫司	丸山 菊男	谷口 朋子	山本真由美	臼杵 照代		
		奥村 厚夫						
監事	北川 新二 宇野 米藏							
顧問	奥村 芳正 竹村 勇 奥村 次一 西垣 和美 久保 秋雄							

理事会

事務局 志津市民センター：政川 純子 谷口 純一

(順不同)

(部会)

自治・総務

部会長：
宇野 敬造
副部会長：
田淵 進

防災・防犯・交通

部会長：
青木 光
副部会長：
大田 昌美

福祉・健康

部会長：
山本 彌夫
副部会長：
服部 孫司

教育・文化

部会長：
奥村 弘
副部会長：
鈴木 登

体育・スポーツ

部会長：
奥村五十六
副部会長：
中山 大樹

部会構成と所管事項

自治・総務

- ◆ 広報誌発行 (7/1, 12/1, 2/1)
- ◆ 住民台帳整備
- ◆ 平和祈念式典 (8/4)
- ◆ 不法投棄対策・環境美化 など



教育・文化

- ◆ ふれあいまつり (11/24)
- ◆ 町内学習懇談会(人権)
- ◆ 青少年の健全育成(年間) など

福祉・健康

- ◆ 敬老のつどい (9/17前後)
- ◆ 地域ふれあいサロン
- ◆ 子育てサロン など



防災・防犯・交通

- ◆ 地域の防災・防犯
- ◆ 交通安全に関すること など



体育・スポーツ

- ◆ 区民運動会 (10/21)
- ◆ スポーツ振興に関すること など